

資格試験対策について

資格には、英語コミュニケーション能力試験や、本学部で学ぶ内容と関連が深いコンピュータ関連各種資格試験には様々なもの（細かく分けると 100 種類以上）があります。これらの資格試験を受験しておくことは、本学大学院への進学や就職活動に役立つのみならず、就職後の業務においても役に立ちます。学生時代に取れる資格については、積極的にチャレンジしてください。

1. 学部として支援する試験と支援内容

つぎの表に示す試験について、学部として資格取得を支援しています。

【語学資格】

試験名称	方針	支援内容
TOEIC (国際ビジネスコミュニケーション協会)	○新入生は全員 6 月の TOEIC web 試験を受験していただきます。(受験料無料) ○学部卒業段階で 600 点取得を目指します。 ○英語科目の成績評価のために TOEIC 学内試験の受験が必須となります。	○授業において、TOEIC 形式の問題練習を実施しています。 ○学内において、6 月および 11 月の年 2 回 TOEIC web 試験を実施します。 ○受験対策講座を実施します。 ○9 月 5 日(土)に TOEIC 対面試験(有料)を実施します。大学院情報科学研究科への進学を目指す者は TOEIC 対面試験のスコアが重要となりますので学内・学外での受験をしてください。

【情報技術関連資格】

試験名称	方針	支援内容
基本情報技術者試験 (経済産業省が実施する国家試験)	3 年生の春までの受験を勧めています。 [参考] 令和 7 年度 11 月時点 受験者数：約 9.2 万人 合格者数：約 3.7 万人	試験の出題範囲に関連する講義科目では、試験カリキュラムの内容を講義の中にとりいれています。授業科目として「情報処理基礎」を開設しています。
応用情報技術者試験 (経済産業省が実施する国家試験)	基本情報技術者試験合格者は 4 年生春までの受験を勧めています。	基本情報技術者試験に合格した人は、翌年春に受験するよう勧めています。 試験の出題範囲に関連する講義科目では、試験カリキュラムの内容を講義の中に取り入れます。

卒業研究（4 年次）を着手するには 3 年次に達成度確認テストに合格しなければなりません。基本情報技術者試験もしくは応用情報技術者試験に合格していれば、達成度確認テストの受験が免除されます。

2. その他ベンダー資格について

IT 関連業界では、以下に示すようなベンダー（企業）資格が重要視されています。これら資格は学生にとっては難しく、容易に取得できるものではありませんが、その分資格をもっていると就職にも有利に働く可能性があります。余裕のある人はぜひチャレンジしてください。

○マイクロソフトの資格

マイクロソフト認定アソシエイト (MCA)

○オラクルの資格

Oracle Master (Silver, Gold, Platinum)、Oracle 認定 Java アソシエイト

Oracle 認定 Java プログラマ、Oracle 認定 Oracle Solaris アソシエイト

○シスコの資格

Cisco Certified Network Associate (CCNA)

Cisco Certified Network Professional (CCNP)